

令和3年度第1回浦安市学校給食センター運営委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時

令和3年7月26日（月）午後2時～午後3時15分

2 開催場所

浦安市消防本部3階 多目的ホール

3 出席者

（委員）

吉田会長、西澤副会長、佐々木委員、佐久間委員、井上委員、遠藤委員、小野尾委員、渡邊委員、高梨委員、高橋委員、佐藤委員、高柳委員、林田委員

（教育委員会）

鈴木教育長、高柳教育総務部次長、丸山教育総務部次長、千鳥学校給食センター平林所長

（事務局）

岡本主査、林田主任栄養士、堀副主査、柳澤栄養士、伊藤栄養士

4 傍聴人

2名

5 議事

（1）審議事項

ア 会長の選任について

イ 副会長の選任について

（2）報告事項

ア 浦安市学校給食センター運営委員会について

イ 令和3年度学校給食センター事務概要について

ウ 学校給食の食物アレルギー対応について

エ 学校給食食材の放射性物質検査について

（3）その他

6 議事概要及び会議経過

開会前に、委嘱状の交付及び自己紹介を行った。

(1) 審議事項

ア 会長の選任について

「浦安市学校給食センター運営委員会規則」第4条第2項に基づき、互選により、吉田委員が選出された。

イ 副会長の選任について

「浦安市学校給食センター運営委員会規則」第4条第3項に基づき、吉田会長が西澤委員を副会長に選任した。

(2) 報告事項

ア 浦安市学校給食センター運営委員について
事務局より報告した。

イ 令和3年度学校給食センター事務概要について
事務局より報告した。

ウ 学校給食の食物アレルギー対応について
事務局より報告した。委員からの質問および意見は、次のとおり。

(委員) 市は、すべての食物アレルギーには対応していないとの説明があった。そこで、食物アレルギーをお持ちの方で、「市の食物アレルギー対応食事業」の対象外となっている児童生徒は何人いるのか。
また、市が、すべての食物アレルギーに対応できない理由が金額であると推察されるので、すべての食物アレルギーをお持ちの人に対応した場合、費用はどのくらい掛かるのか。

(事務局) 令和元年度の調査結果では、学校給食で、食物アレルギーにより食べることができない食材がある児童生徒の人数は、小学校は443人、中学校は170人である。この人数には、カシューナッツのように年に2回から3回くらい給食に提供する食材に対する食物アレルギーをお持ちの人（給食を食べることができない人）もいれば、胡麻のように頻繁に使用する食材へのアレルギーをお持ちの人もある。

なお、すべての食物アレルギーに対応した場合の金額は、算出していない。これは、主な理由が、卵、乳、えび、小麦などに対応する施設と人員に係る費用面よりも、安全性が重要であると考えているからである。

すべての食材アレルギーに対応するためにメニューを多様化することで、学校における児童生徒への配食も多様化することから、トラブルが生

じる可能性が高くなることが懸念される。このことから、すべての食物アレルギーには対応していないのが現状である。

エ 学校給食食材の放射性物質検査について
事務局より報告した。

(3) その他

ア 6月開催の市議会定例会の報告について
教育委員会より、6月に開催された市議会定例会において、給食に関する質問があったことから、その質問と回答について報告した。

イ 夏休み学校給食センター見学会について
8月3日(火)に開催予定の「夏休み学校給食センター見学会」について報告した。

ウ 次回の会議日程について
令和3年度第2回浦安市学校給食センター運営委員会議について、事務局より説明した。

以上